

ソフトボール大会 立町編

これは立町に語り継がれる、ソフトボールにおける勇者達のお話である。相手は魔王軍団中之条、金井。先陣を切ったのは宮入の3ランホームラン、レフト春日のレーザービーム、エリア51は彼の為にある言葉なのか。ショート平田は立町のムーキーベッツ、ホームランを打ったり大活躍、そして最終兵器宮尾、甲子園でホームランを打つなど、その栄光は輝かしくチームの中心的存在、しかし戦いは引き分けとなり9人でジャンケン。ここで勇者達は大きな落とし穴を知る。ジャンケンが弱い。次の戦いには勝利し彼らの死闘は幕を閉じた。勇者達の顔には清々しさと達成感、そして筋肉痛が彼らの頬を歪めていた。



上五明分館紹介

上五明区は約230世帯の小さな地域です。かつては公民館活動も盛んで、地域全体に強い仲間意識がありました。しかし、近年は若い世代が減り、さらにコロナ禍で活動を休止した時期もあったため、人と人のつながりが以前より薄くなってきているように感じます。それでも、地域の行事は少しずつ活気を取り戻しています。3月には新入学児童のお祝い会を開き、今年は3名の子どもたちを地域で温かく迎えました。町のソフトボール大会では上五明区がブロック優勝を果たし、大きな励みとなりました。区のマレットゴルフ大会には40名ほどが参加し、夏祭りや秋のスポーツ大会も予定しています。顔を合わせる機会を大切にしながら、これからも地域のつながりを育んでいきたいと思っています。

管内分館役員研修会

更埴公民館運営協議会主催による更埴管内分館役員研修会が5月14日(木)に千曲市あんずホールで開催され、平日の開催にもかかわらず、坂城町から7名の分館役員の皆さんに参加していただきました。

今回は、長野県公民館館長総会並びに研修会と同時開催で行われ、研修会では

長野市立博物館協議会会長であり、元長野市立安茂里公民館長の宮下健司先生を講師に、飯山市・長野市大岡での実践についてお話いただきました。

公民館から地域を見つめ直す「地域学」の話題について、更埴管内の分館役員の皆さんも聞き入っていました。

